

イントラネットからエクストラネット (3) ～ I I S によるイントラネット構築 (1) ～

・ I I S によるイントラネットの構築

W e bサーバを立ち上げるには、N e t W a r e の後継である I n t r a n e t W a r e を利用する方法などがありますが、W i n d o w s N T 用の W e bサーバとして I I S (I n t e r n e t I n f o r m a t i o n S e r v e r) があります。今回はこの I I S を例にとって、イントラネット構築を行う方法を説明してみたいと思います。

・ I I S の特徴

① ユーザ認証

I I S では、W i n d o w s N T のドメインユーザ管理をそのまま利用することができます。W i n d o w s N T では、ディレクトリやファイルに対するアクセス権限を管理できるようになっていますが、I I S でもそのまま利用することができます。また、認証したユーザはアクセスログに記録が残りますので、不正アクセスのトラッキングにも利用できます。つまり、ブラウザからアクセス制限のあるコンテンツを参照しようとしたときにユーザ認証ダイアログが表示され、ユーザ名、パスワードの入力が求められます。

② 仮想ディレクトリ

I I S では仮想ディレクトリとして他のマシンのディレクトリを W e b で公開することができます。つまり、情報の物理的収納場所を W e bサーバとは別の場所に持っていくことができます。このことにより、外部からの不正アクセスに対して、W e bサーバにアクセスされても、実際の情報があるところとの接続を T C P / I P 以外のプロトコルを使うことによってある程度防ぐことができます。

③ 仮想サーバ

I I S では、1台のサーバで論理的に複数の W e bサーバを立ちあげることができます。このことにより、社内の各部門が独自の W e bサーバサービスを立ちあげることができます。

④ I S A P I

W e bサーバを立ち上げるメリットとしてサーバアプリケーションの作成がありますが、このあぶりけしよんをさくせいするものとして I I S では I S A P I (I n t e r n e t S e r v e r A P I) があり、サーバの負担を軽くしています、

⑤ I D C による R D B M S との連携

イントラネットの活用としてもっとも重要なものが、バックエンドの R D B M S との連携です。I I S では、I D C (I n t e r n e t D a t a b a s e C o n n e c t) を利用して R D B M S を利用することができます。

⑥ デメリット

W i n d o w s N T を使って W e bサーバを構築すると、マシンの名前解決が D N S ではないため、外部との接続に障害が発生することが上げられます。

(情報誌トピックス)

○ 経コンビ 6月9日号

特集 「見せる・聞かせるシステム」の威力

→これまで業務システムでは魅力的でありながら扱われなかったマルチメディアデータが、業務プロセスを見直すことに加えて取り込み、根本から変えてしまうような実用段階を迎えている。

特集 アウトソーシング最前線

→システム部ホストを含めた開発、運用すべてを行うことはもはや不可能に近い。アウトソーシングすることで、システム部の役割が明確になる。

フォーラム ウィルスに新たな感染経路、WWWからのダウンロードが浮上

→ダウンロードするファイルにマクロウィルスの感染が発覚

技術解説 持ち歩かないモバイル・コンピューティング

→WWWブラウザに自分のコンピュータ換気用を呼び出すことによって“機器を持ち歩かないモバイルコンピューティング”が可能になる

○ 経エレクトロニクス 6月16日号

特集 ハードディスクに死角あり

→順調に伸びてきたHDDの記録密度ではあるが、後2年でその伸びは鈍化し、メーカー間価格競争が激化する

解説 Pentium IIで占うIntel社のMPU戦略

→IntelはPentium IIを出したが、1997年中はPentium ProやPentiumを置き換えることはなく、次期Pentium II (Deschutes)が登場する1998年以降となる

○ 経パソコン 6月16日号

特集 CPU戦国時代のパソコン選び

→新しいCPUや互換CPUが登場し、最新パソコンのCPUは20種にも及ぶ。パソコンの性能が周波数だけでは決められなくなった状態でどのようにパソコンを選ぶか。

シリーズ 「体にやさしいパソコン」

気になり出したらとまらないパソコンの騒音を探る

→オフィスでは気にならなくても、家庭では気になるパソコンからの騒音。実際どのぐらいの音が出ているか。

○ 経オフィスシステム 6月号

特集 NTの実力

→基幹業務への採用が進んでいるWindows NTではあるが、構築事例をもとにどこまでのシステムに対応できるか、どのような問題が発生しているかその実力を検証

フォーラム 米国モバイルコンピュータ最前線

フロント Windows CEが市場を牽引、企業用システムへの導入が本格化

→スケジュール管理や営業支援としての導入が本格化

オープン WWWブラウザ版ホスト端末エミュレータ

サーバ 既存エミュレータよりも機能は劣るが用途によっては実用的

→ a p r i c o t N E T < 3 2 7 0 W W W > などの紹介

オープン 業務系サーバとして4割の企業がNT採用、UNIXと比べて信頼性に問題

レポート → 問題点は、信頼性の低さと開発・保守の生産性の低さだが、評価はこれから

○ 経 マ ル チ メ デ ィ ア 6 月 号

特集 たかがカメラ、されどデジタル

→ 保険の査定などデジタルカメラを採用する企業が増えている。活用ノウハウから、カメラ、画像管理ソフトの選択ポイントまで

トレンド 息吹き返すマルチメディア端末

→ 情報を提供する端末から、利用者参加型の端末へ移行し、銀行やデパートで顧客囲い込みに息を吹き返す

○ I A N T I M E 6 月 号

特集 情報システムで試される「グループウェア」の実力！

→ インターネット／イントラネットに欠かせないグループウェアを、3大グループウェアを中心に検証

○ A S C I I D O S / V 7 月 号

特集 P e n t i u m II マシンがやってきた！！

→ 搭載マシン、マザーボードの徹底比較

特集 I E 4 で W i n d o w s を 2 5 6 倍 使 い や す く す る

→ W i n d o w s 環境を変える I E 4 . 0 の特徴とその使い方を特集

○ P C W A V E 7 月 号

特集 C P U - 地 殻 変 動 の 予 兆

→ いろいろなCPUとチップセットマザーボードの特集

○ D O S / V m a g a z i n e 6 月 1 5 日 号

特集 P C 自 作 派 全 面 支 援 ! 4 3 0 T X / P II マザーを狙え

→ パソコンを自作しようとする人用の細かい特集

特集 「あがき」の鉄則12か条

→ W i n 9 5 を 使 っ て い る う ち に 止 ま っ て し ま っ た ら ど う す る か 。 シ ス テ ム ク ラ ッ シ ュ し た 場 合 の あ が き の 復 旧 方 法